

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業
平成17年度 環境モニタリング調査結果

平成18年7月
日本環境安全事業株式会社
北九州事業所

< 周辺環境 >

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果				年平均	頻度	(参考)環境基準値等
				5月	8月	11月	2月			
大気	敷地南西端	PCB	mg/m3	0.00000028	0.00000029	0.00000027	0.00000027	0.00000028	1年に4回	0.0005以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m3	0.076	0.06	0.078	0.058	0.068		0.6以下
		ベンゼン	mg/m3	0.0063	0.0028	0.0032	0.0017	0.0035		0.012以下
水質 (海水)	雨水洞海湾出口沖	PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1年に2回 (自主的に4回)	検出されないこと ^(注2)
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.079	0.069	0.13	0.095	0.093		1以下
地下水	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L				不検出			検出されないこと ^(注2)
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L				0.098			1以下
土壌	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L				不検出			検出されないこと ^(注2)
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g				0.27			1000以下
底質	雨水洞海湾出口沖	PCB	(成分)	mg/kg				不検出 ^(注3)	1年に1回	-
			(溶出)	mg/L				不検出 ^(注2)		-
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g				3.5			150以下
生物 ^(注4)	雨水洞海湾出口沖	PCB	pg/g-wet				35,000			-
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g-wet				1.6			-

(注1:調査地点は添付2に示す)

(注2:検出限界値は0.0005mg/L)

(注3:検出限界値は0.05mg/kg)

(注4:調査対象はムラサキインコガイ(検体の脂肪重量は1.70%))

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業
平成17年度 環境モニタリング調査結果

平成18年7月
日本環境安全事業株式会社
北九州事業所

< 排出源 >

要素	調査地点 ^(注5)		調査項目	単位	測定結果						頻度	管理目標値	
					4月	5月	6月	10月 (8月の振替分)	10月	12月			2月
排気	洗浄排気1	G1	PCB	mg/m3N	0.0038	0.00022	0.0035	不検出 ^(注8)	0.00013	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	1年に4回 ⁽¹⁾	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	/	0.000023	/	/	0.0000077	1年に2回	0.1以下
	洗浄排気2	G2	PCB	mg/m3N	0.00002700	不検出 ^(注8)	1年に4回 ⁽¹⁾	0.01以下					
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	/	0.00037	/	/	0.0000034	1年に2回	0.1以下
	真空加熱分離系排気	G3	PCB	mg/m3N	0.00000920	不検出 ^(注8)	0.000047	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	1年に4回 ⁽¹⁾	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	/	0.0000066	/	/	0.0000068	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m3N	/	/	/	2.9	/	/	不検出 ^(注10)		50以下
	液処理系排気1	G4	PCB	mg/m3N	0.000060	不検出 ^(注8)	1年に4回 ⁽¹⁾	0.01以下					
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	/	0.000053	/	/	0.0000022	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m3N	/	/	/	不検出 ^(注9)	/	/	不検出 ^(注9)		50以下
	液処理系排気2	G5	PCB	mg/m3N	不検出 ^(注6)	不検出 ^(注8)	1年に4回 ⁽¹⁾	0.01以下					
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	/	0.000032	/	/	0.0000013	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m3N	/	/	/	不検出 ^(注9)	/	/	不検出 ^(注9)		50以下
	換気	G6	PCB	mg/m3N	0.00022	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	0.000035	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	1年に4回 ⁽¹⁾	0.01以下
ダイオキシン類			ng-TEQ/m3N	/	/	/	0.0000061	/	/	0.0000012	1年に2回	0.1以下	
分析室排気	G7	PCB	mg/m3N	不検出 ^(注7)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注9)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注9)	1年に4回 ⁽¹⁾	0.01以下	
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	/	0.0000052	/	/	0.0000015	1年に2回	0.1以下	

(注5:調査地点は添付2及び3に示す)

(注6:1~10塩素化物それぞれの検出限界値は0.02 µg/m3)

(注7:1~10塩素化物それぞれの検出限界値は0.001 µg/m3)

(注8:1~10塩素化物それぞれの検出限界値は0.01 µg/m3)

(注9:検出限界値は1mg/m3)

(1:操業開始後半年間(平成16年12月から平成17年5月まで)は毎月1回、その後半年間(平成17年6月から平成17年11月まで)は2ヶ月に1回実施)

(2:平成16年度は操業開始後、半年以内のため、年に1回実施)

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成18年7月

平成17年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

< 排出源 >

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果		頻度	管理目標値
				10月 (8月の振替分)	2月		
排水	下水排水渠	PCB	mg/L	不検出 ^(注10)	不検出 ^(注10)	1年に2回	0.003以下
雨水	敷地出口	PCB	mg/L		不検出 ^(注10)	1年に1回	0.003以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L		15 ^(注11)		10以下
悪臭	敷地境界 (風上)	アセトアルデヒド	ppm		不検出 ^(注12)	1年に1回	0.05以下
		トルエン	ppm		不検出 ^(注13)		10以下
		キシレン	ppm		不検出 ^(注14)		1以下
	敷地境界 (風下)	アセトアルデヒド	ppm		不検出 ^(注12)		0.05以下
		トルエン	ppm		不検出 ^(注13)		10以下
		キシレン	ppm		不検出 ^(注14)		1以下
	真空加熱分離系排気	アセトアルデヒド	ppm		0.17 ^(注15)		0.05以下
		トルエン	ppm		不検出 ^(注13)		10以下
		キシレン	ppm		不検出 ^(注16)		1以下
騒音	敷地境界 (北)	騒音レベル	dB(A)		53(50)	1年に1回	70以下 (夜間65以下)
	(南)				53(52)		
	(東)				56(51)		
	(西)				58(58)		

(注10: 検出限界値は0.0005mg/L)

(注11: 主成分はPCB廃棄物処理施設由来のものではないことを確認した。また、平成18年4月10日に北九州市が行った再調査結果は、1.4pg-TEQ/Lであり、基準を満たしていることを確認した。

(注12: 検出限界値は0.005ppm)

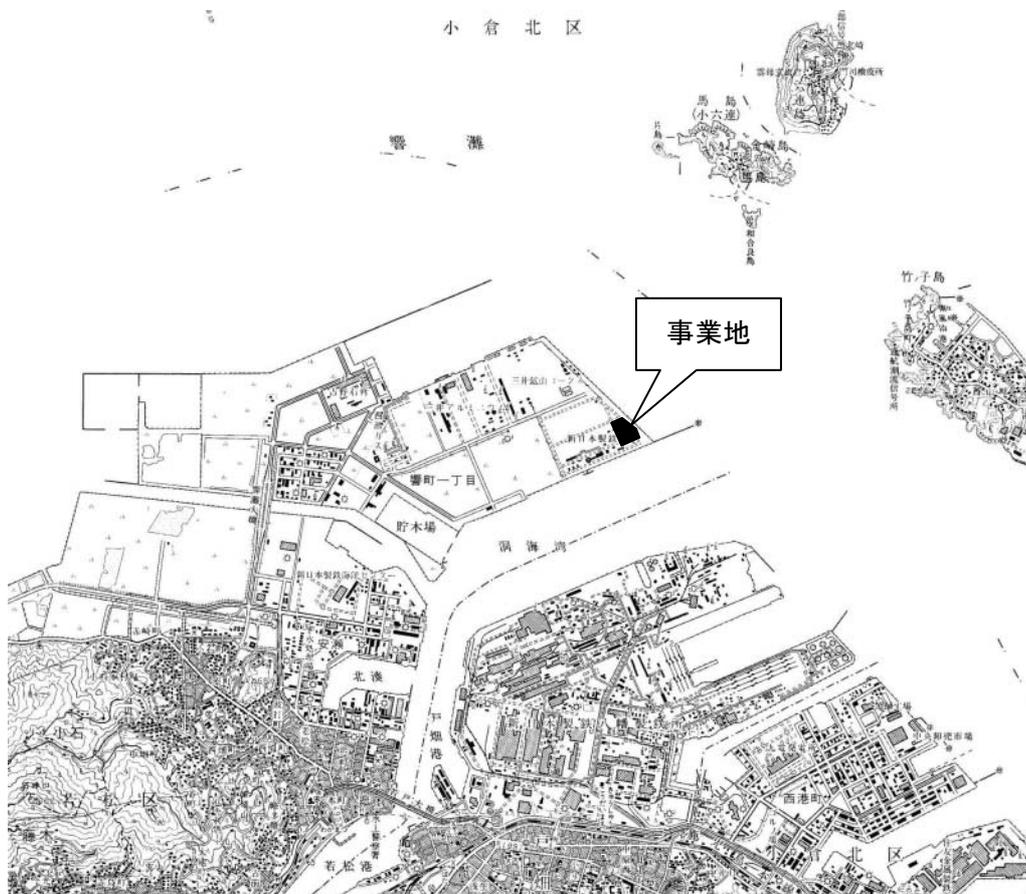
(注13: 検出限界値は1ppm)

(注14: 検出限界値は0.1ppm)

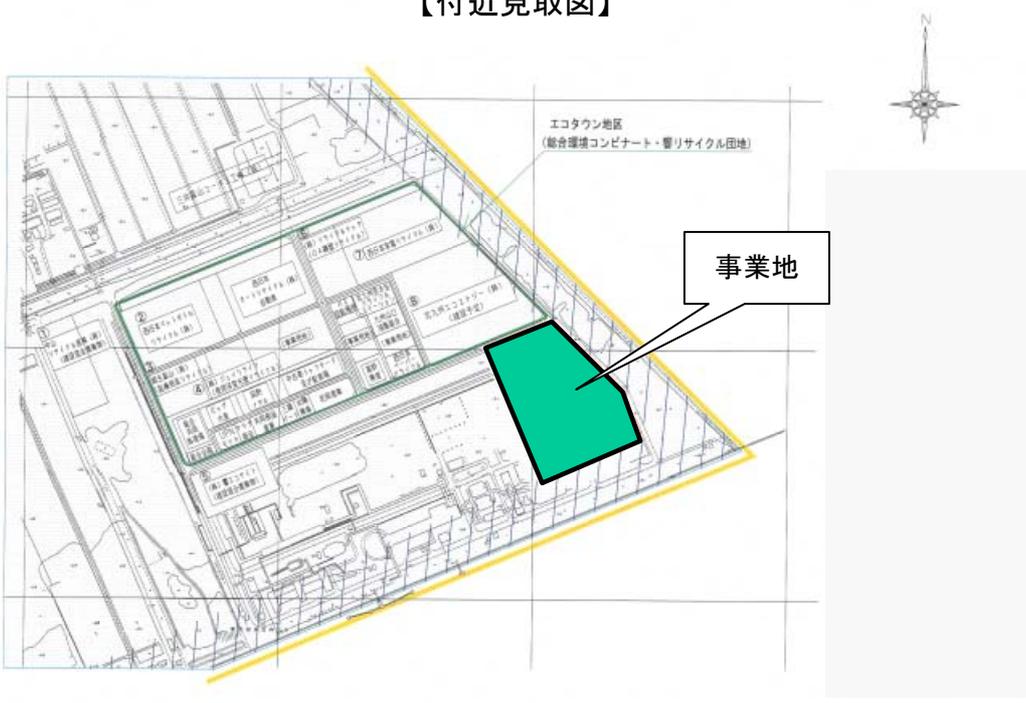
(注15: 吸着剤の充填不具合による偏流が原因と思われる。充填要領の見直し、使用前処理工程の改善等の対策を実施した。平成18年4月25日に行った再調査結果で不検出を確認した。

(注16: 検出限界値は0.5ppm)

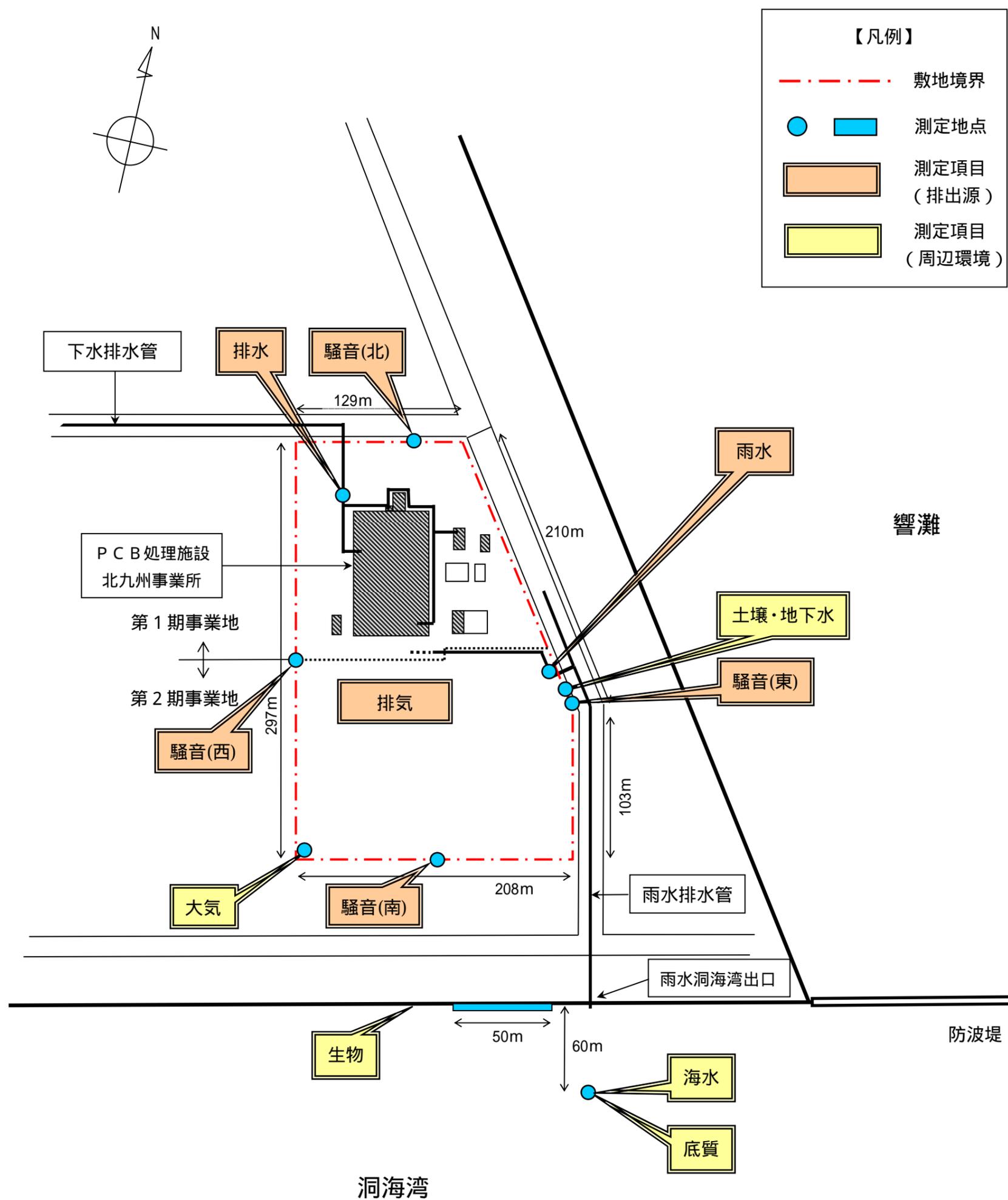
【事業地 位置図】



【付近見取図】



北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業 平成 17 年度 環境モニタリング調査地点図



悪臭

悪臭は測定日当日の風上と風下でサンプリングします。

排気測定のスプリング箇所

